

(再評価)

一般国道5号
倶知安余市道路
(倶知安～共和、共和～余市)

再評価原案準備書説明資料

平成30年度
北海道開発局

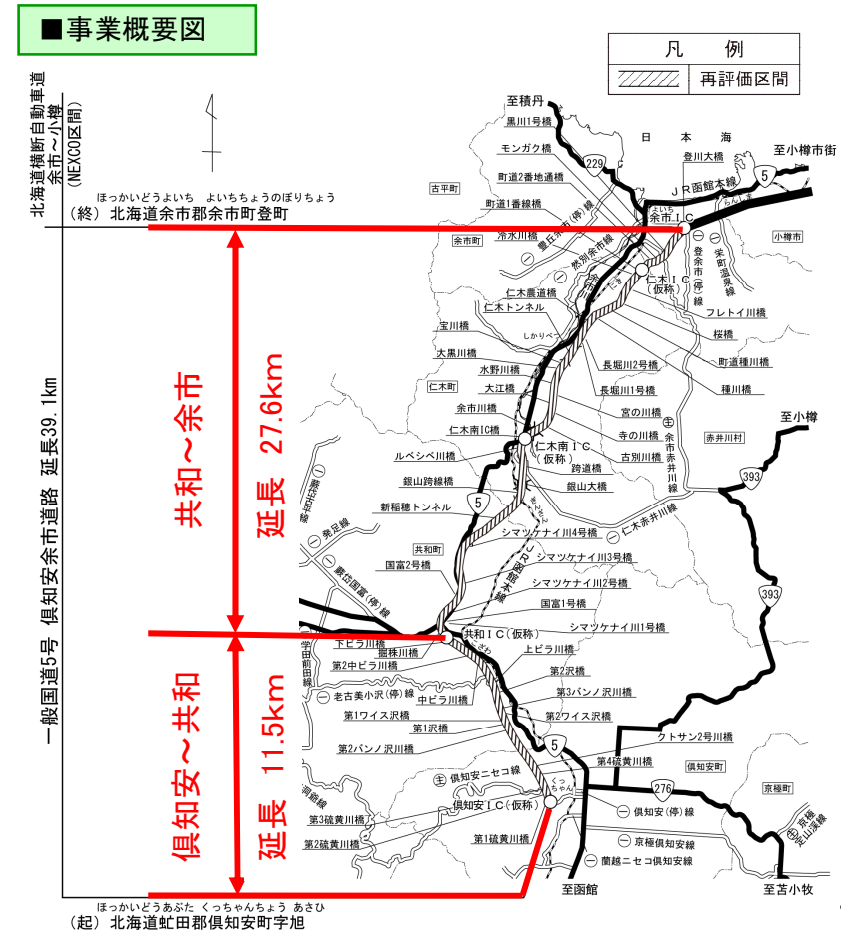
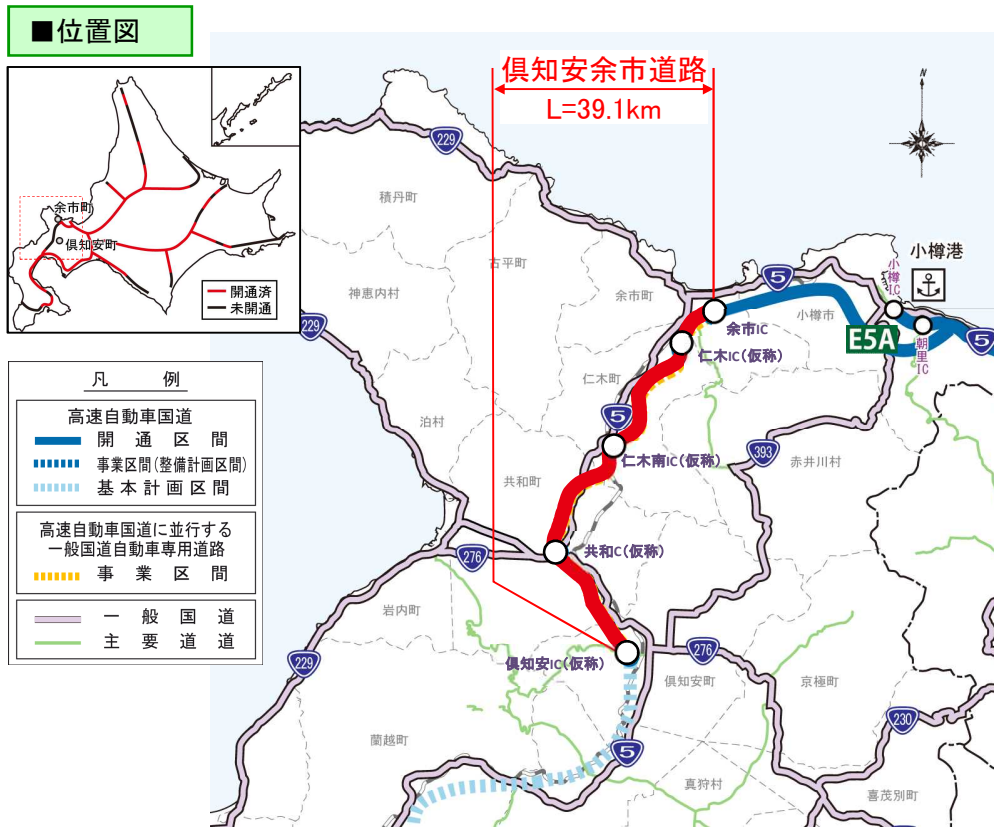
目 次

1.事業の概要1
2.事業の必要性等3
(1)事業の整備効果	
(2)事業の投資効果	
3.事業進捗の見込み10
4.関係自治体の意見11
5.対応方針(案)13

1. 事業の概要

(1) 事業の目的

- ・ 倶知安余市道路は、新千歳空港から主要観光地であるニセコエリアへの速達性の向上、大規模災害時の代替ルートの確保、高次医療施設への搬送時間の短縮、国際コンテナ通行支障区間の解消による物流の効率化等を目的とした延長39.1kmの事業である。

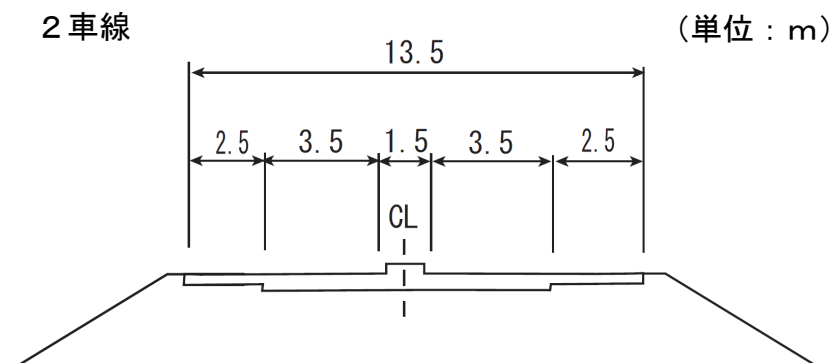


1. 事業の概要

(2) 計画の概要

- ① 起点 ……^{ほっかいどうあふた}北海道^{くつちゃん}虻田郡^{あさひ}倶知安町字旭
- 終点 ……^{ほっかいどう よいち よいち のぼり}北海道余市郡余市町登町
- ② 計画延長 …… 39.1 km
- ③ 幅員 …… 13.5 m
- ④ 構造規格 …… 1種3級
- ⑤ 設計速度 …… 80 km/h
- ⑥ 車線 …… 2車線
- ⑦ 事業主体 …… 北海道開発局

■横断面



(3) 事業の経緯

< 倶知安～共和間 >

平成 3 年度	基本計画
平成 28 年度	事業化
平成 30 年度	用地補償着手
	工事着手
	事業進捗率 1 %

< 共和～余市間 >

平成 3 年度	基本計画
平成 26 年度	事業化
平成 28 年度	用地補償着手
	工事着手
平成 30 年度	事業進捗率 8 %

※事業進捗率は事業費変更後の進捗率
(H30年3月末時点)

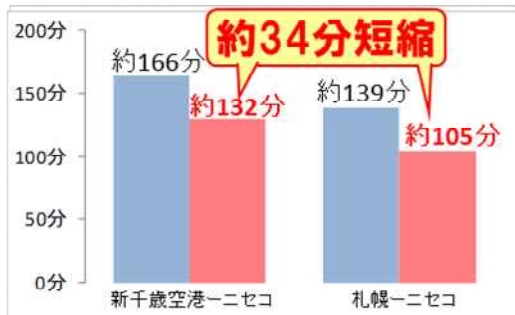
2. 事業の必要性等

(1) 事業の整備効果(国際的観光リゾートのさらなる発展)

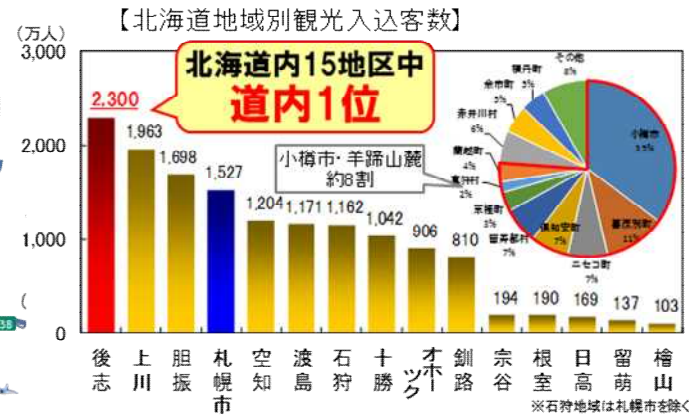
- ・ 後志地域は国際的な観光地である“ニセコ”を有し、観光入込客数は年々増加傾向にあり、平成29年度には道内1位である約2,300万人を記録。
- ・ 一方で新千歳空港や札幌市からの移動に時間がかかるなど、アクセス性が課題。
- ・ 当該道路の整備により、新千歳空港や札幌からの速達性が向上し、国際的観光リゾートの更なる発展に寄与。

■ 後志地域の観光状況

【新千歳空港・札幌～ニセコエリアの所要時間】



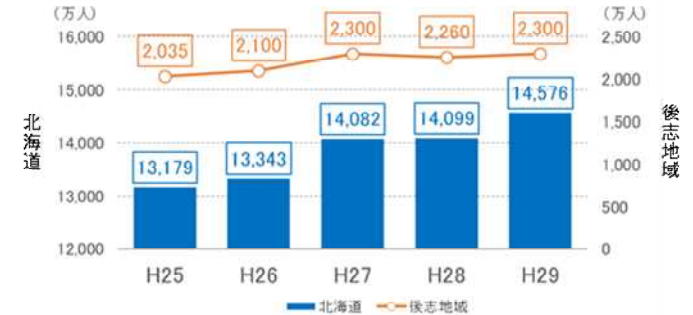
出典:平成27年度全国道路・街路交通情勢調査(国土交通省)



【後志の外国人宿泊客延数の推移】



【観光入込客数の推移】



出典:北海道観光入込数調査報告書(北海道)

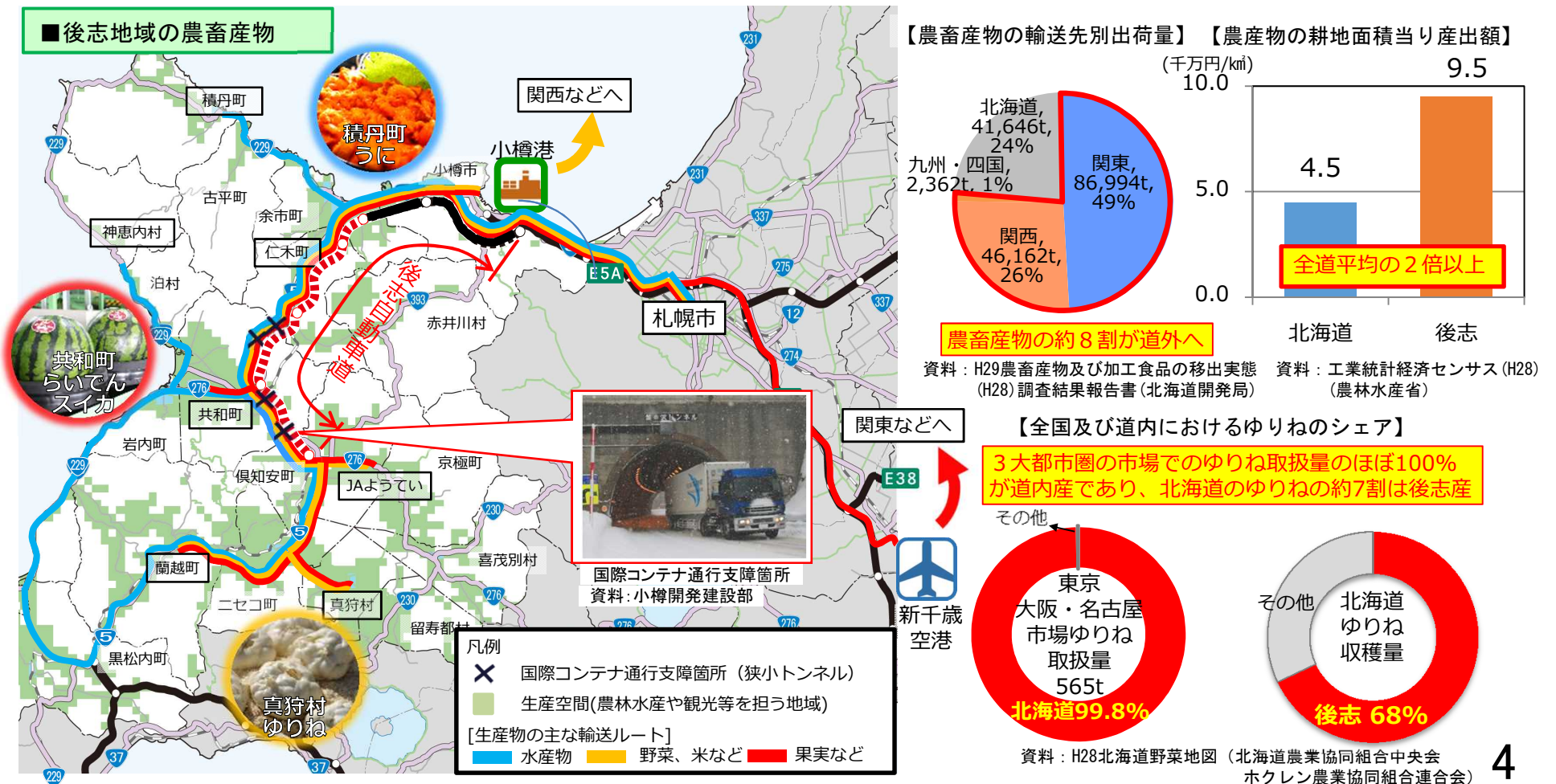
【ニセコエリアの主要な観光地】



2. 事業の必要性等

(1) 事業の整備効果(物流効率化の支援)

- ・後志地域は、海岸沿岸部から内陸部まで生産空間が広域に分布しており、多種多様なブランド力の高い食の生産業が営まれる北海道農業・漁業の縮図。
- ・当該路線と平行する現道では国際コンテナ通行支障箇所を抱え、物流への影響が課題。
- ・当該路線の整備により、道内の一大消費地札幌市や小樽港・新千歳空港を通じ全国へより効率的な出荷をすることが可能となり、後志地域の生産空間の維持・発展を支援。

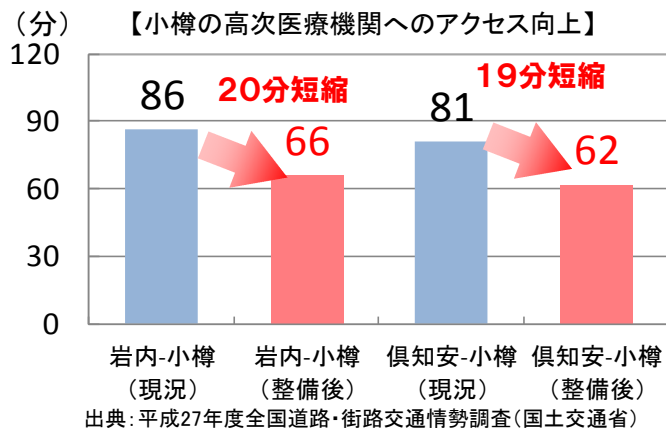
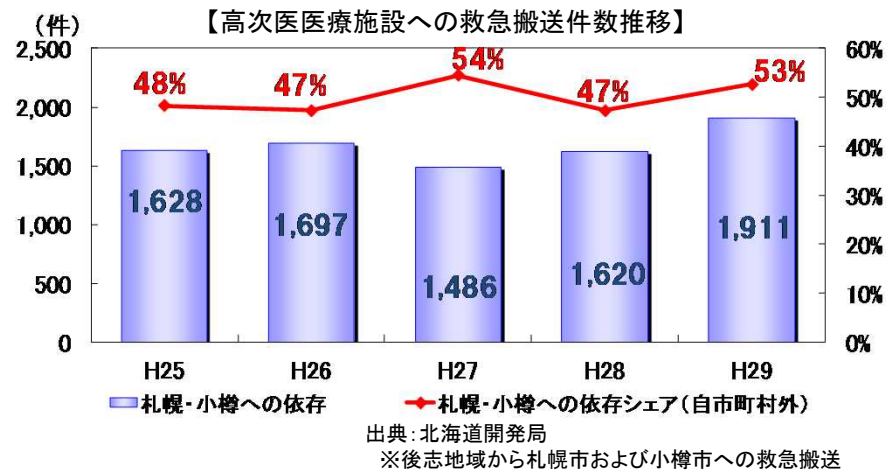


2. 事業の必要性等

(1) 事業の整備効果(救急搬送の安定性向上)

- ・ 後志地域の救急搬送は、全体の約半数が高次医療施設のある小樽市や札幌市に集中。
- ・ 搬送ルートとなる国道5号は、峠部の上り下りにより患者への負担が大きくかかるなど、速達性及び安全性の確保が課題。
- ・ 当該道路の整備により、後志地域から小樽市及び札幌市への速達性及び安全性の高い搬送ルート確保が期待。

■ 後志地域の救急医療状況



2. 事業の必要性等

(1) 事業の整備効果(災害時の緊急輸送ルート強化)

- ・ 後志・胆振地域は、約30年周期で噴火を繰り返す有珠山や樽前山が存在。
- ・ 国道5号は、太平洋ルートの代替路として緊急時に重要な役割を担う路線であるが、狭小トンネル等といった課題が存在し、迅速な救援及び避難活動への影響が課題。
- ・ 当該路線の整備により、緊急時における迅速な救援及び避難活動への寄与が期待。

■有珠山噴火災害による交通の転換

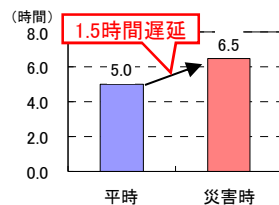


■鉄道輸送の迂回状況

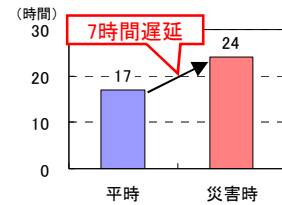


▼都市間バスの遅延

札幌～函館間の都市間バス
中央道から札幌道と国道5号に転換



本州～札幌間の鉄道輸送
函館～札幌間についてトラック代行に転換

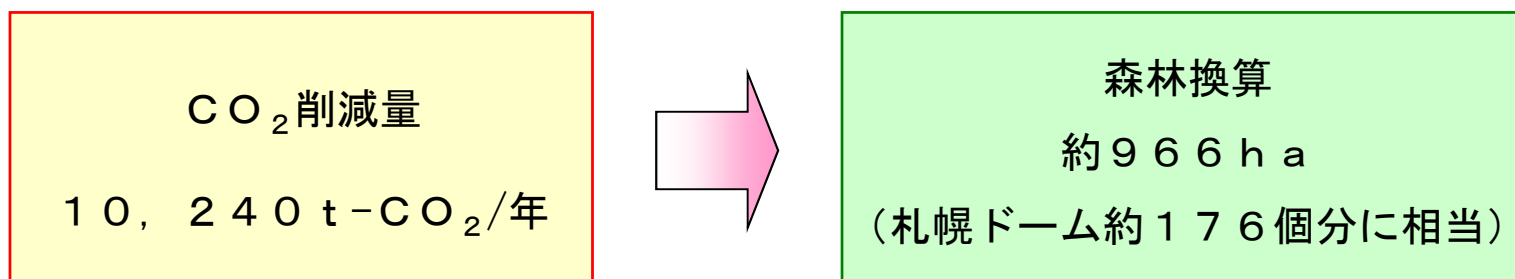


資料: H12西胆振地域外有珠山噴火に伴う影響調査業務報告書/北海道開発局

2. 事業の必要性等

(1) 事業の整備効果(CO₂排出量の削減)

- ・ CO₂排出量は、整備なしでは、235,694 (t-CO₂/年)
- ・ 当該道路の整備により、225,454 (t-CO₂/年) となり、整備されない場合に比べ、10,240 (t-CO₂/年) の削減が見込まれます。



※対象地域：後志総合振興局

※平成42年将来交通量推計を基に算出

※森林のCO₂吸収量は10.6 t-CO₂/ha・年として試算

出典：『土地利用、土地利用変化及び林業に関するグッド・プラクティス・ガイダンス（優良手法指針）』

※札幌ドーム面積は建築面積5.5haを使用し換算

2. 事業の必要性等

(2) 事業の投資効果(費用便益分析 -事業全体-)

基本条件

全体事業費	計画交通量(台/日)	基準年
420億円(倶知安～共和) 1,090億円(共和～余市)	6,600～12,500	平成30年度

費用便益分析

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)	経済的内部収益率(EIRR)
	1,493億円	175億円	42億円	1,711億円		
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	1.2	5.1%
	1,278億円		145億円	1,423億円		

感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	6,600～12,500	±10%	1.03～1.4
事業費	1,400億円	±10%	1.1～1.3
事業期間	11年	±1年	1.2～1.3

注1)費用及び便益の合計額は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

注2)便益・費用については、基準年における現在価値化後の値である。

2. 事業の必要性等

(2) 事業の投資効果(費用便益分析 -残事業-)

基本条件

全体事業費	計画交通量(台/日)	基準年
420億円(倶知安~共和) 1,090億円(共和~余市)	6,600~12,500	平成30年度

費用便益分析

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)	経済的 内部収益率 (EIRR)
	1,493億円	175億円	42億円	1,711億円		
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	1.3	5.8%
	1,137億円		145億円	1,283億円		

感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	6,600~12,500	±10%	1.1~1.5
事業費	1,265億円	±10%	1.2~1.5
事業期間	6年	±1年	1.6~1.6

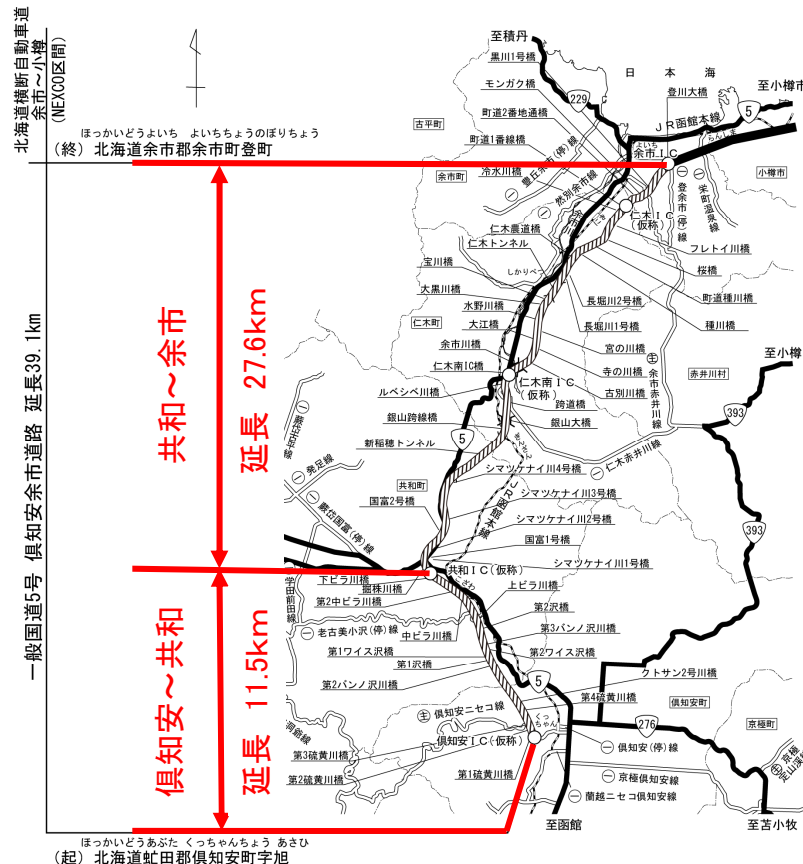
注1)費用及び便益の合計額は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

注2)便益・費用については、基準年における現在価値化後の値である。

3. 事業進捗の見込み

- ・ 当該事業のうち倶知安～共和間は、平成28年度に事業化、平成30年度に工事着手。共和～余市間は、平成26年度に事業化、平成28年度に工事着手。
- ・ 用地進捗率は倶知安～共和間で0%（0%）、事業進捗率は1%、共和～余市間で用地進捗率11%（35%）、事業進捗率は8%
- ・ 引き続き、早期開通に向けて事業を進めます。

※用地進捗率及び事業進捗率は、平成30年度北海道における事業計画(H30年4月)ベース
 ※用地進捗率は面積ベース
 ()内は用地補償費投入ベース
 (H30年3月末時点)



凡 例	
	再評価区間

4. 関係自治体の意見

期成会等名称	会長等	主な構成メンバー	要望内容
後志総合開発期成会	共和町長	共和町、小樽市、京極町、寿都町、神恵内村、赤井川村、真狩村、余市町、仁木町、蘭越町、岩内町、倶知安町、古平町、島牧村、積丹町、喜茂別町、泊村、留寿都村、ニセコ町、黒松内町の首長	<p>広大な北海道において高規格幹線道路ネットワークの形成は、圏域間交流連携の強化、地域医療の充実に加え、企業進出や観光客の増加等、産業面、観光面のストック効果をさらに高める上で最重要課題の一つである。また、災害から住民の生命・財産を守り、安全・安心な社会を実現するための防災対策の促進や観光・産業道路としての幹線道路網の整備促進を要望</p>
北海道横断自動車道黒松内・小樽間建設促進期成会	小樽市長	小樽市、共和町、京極町、寿都町、黒松内町、余市町、喜茂別、赤井川村、神恵内村、蘭越町、ニセコ町、倶知安町、仁木町、岩内町、真狩村、島牧村、留寿都村、泊村、積丹町、古平町の首長	<p>高規格幹線道路をはじめとする道路網の形成は、地域経済の活性化、高次医療施設への搬送時間の短縮や周辺道路の交通渋滞、交通事故などの解消、さらに火山噴火など大規模災害時の代替ルート機能確保のため、地域における必要性は高くなっている。</p> <p>後志地域においては、世界からも高く評価されているニセコ地域をはじめ、外国人観光需要が高まっており、地域間交流の活性化や観光・産業道路としての幹線道路網の整備促進を要望</p>
小樽国道協議会	小樽市長	小樽市、岩内町、共和町、京極町、寿都町、喜茂別町、神恵内村、赤井川村、真狩村、島牧村、黒松内町、蘭越町、ニセコ町、留寿都村、倶知安町、泊村、積丹町、古平町、仁木町、余市町の首長	<p>後志地域は、大都市札幌に隣接する道内でも有数の新鮮な農水産物の産地であるとともに、豊かな自然環境に恵まれ、四季を通じたレクリエーション基地として、特色ある地域作りを進めている。</p> <p>今後、これらのポテンシャルを活用し、地域が発展していくための安全・安心で信頼性・利便性の高い高速交通ネットワークとして幹線道路網の整備促進を要望</p>

4. 関係自治体の意見

期成会等名称	会長等	主な構成メンバー	要望内容
国道229号余市・岩内・島牧間整備促進期成会	寿都町長	寿都町、岩内町、神恵内村、島牧村、共和町、泊村、積丹町、黒松内町、蘭越町、古平町、余市町の首長及び議会議長	後志日本海沿岸町村は、世界的に注目される観光地“ニセコ”との連絡により、北海道でも有数の観光地を形成していることから、地域資源を活かした魅力ある観光地域づくりに大きく貢献する高規格幹線道路網等の整備促進を要望
しりべしに高速道路を実現する会	岩内商工会議所会頭	岩内町、小樽市、余市町、倶知安町の商工会議所会頭等	後志地域の観光需要は益々高まりを見せており、近隣市町村からの雇用が必要な状況であるが、現道における峠などの線形隘路等、通勤における課題から人材確保に苦慮している。また、医療においても都市部への依存が強まっていることから、後志地域と都市間を結ぶ高速交通ネットワークの整備促進を要望
北海道後志町村議会議長会	赤井川村議会議長	赤井川村、寿都町、倶知安町、余市町、共和町、留寿都村、ニセコ町、岩内町、泊村、神恵内村、積丹町、古平町、仁木町、島牧村、黒松内町、蘭越町、真狩村、喜茂別町、京極町の議会議長	当地域は、北海道・日本の食料基地として重要な役割を果たしていることから、農産物等の安全で確実な輸送・移動の実現が望まれている。また、医療過疎が進展し、小樽・札幌の医療施設に依存している状況下において、高次医療施設への搬送や日常の通院移動時間の短縮を図る「命の道」の確保や、火山噴火などの大規模災害時における代替ルートの確保が喫緊の課題。さらには、「観光立国の実現」の一翼を担うためにも後志地域全体の地域活性化に大きく貢献する高規格幹線道路の整備促進を要望

○北海道からの意見

北海道知事からの意見

新千歳空港から主要観光地であるニセコエリアへの速達性の向上、大規模災害時の代替ルートの確保、高次医療施設への搬送時間の短縮、国際コンテナ通行支障区間の解消による物流の効率化等が図られ、道民生活の向上や経済・社会活動の活性化に寄与することから、当該事業の継続について異議はありません。引き続き整備促進をお願いいたします。

5. 対応方針(案)

- ・倶知安余市道路は、新千歳空港から主要観光地であるニセコエリアへの速達性の向上、大規模災害時の代替ルートの確保、高次医療施設への搬送時間の短縮、国際コンテナ通行支障区間の解消による物流の効率化等に寄与する事業と考えられます。
- ・事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果等の投資効果も確保されているため、事業継続とします。
- ・引き続き、コスト縮減に取り組むとともに、適正な事業費及び事業期間の管理に努めていきます。

項目	細目	内容	
		事業全体	残事業
費用便益比(B/C)	3便益によるB/C ・走行時間短縮 ・走行経費減少 ・交通事故減少	B/C=1.2 【倶知安～共和】 B/C=1.2 【共和～余市】 B/C=1.5	B/C=1.3 【倶知安～共和】 B/C=1.2 【共和～余市】 B/C=1.7
事業の整備効果	活力	国際的観光リゾートのさらなる発展	・新千歳空港や札幌からの速達性が向上し、国際的観光リゾートの更なる発展に寄与
		物流効率化の支援	・道内の一大消費地である札幌市や小樽港・新千歳空港を通じ全国へより効率的な出荷をすることが可能となり、後志地域の生産空間の維持・発展を支援
	暮らし	救急搬送の安定性向上	・後志地域から小樽市及び札幌市への速達性及び安全性の高い搬送ルート確保が期待
	安全	災害時の緊急輸送ルートの強化	・緊急時における迅速な救援及び避難活動への寄与が期待
	環境	CO2排出量の削減	・自動車からのCO ₂ 排出量10,240t-CO ₂ /年の削減が期待
事業進捗の見込み	事業の進捗状況	・平成30年3月末時点で、倶知安～共和間 用地進捗率 0%、事業進捗率1% 共和～余市間 用地進捗率11%、事業進捗率8%	